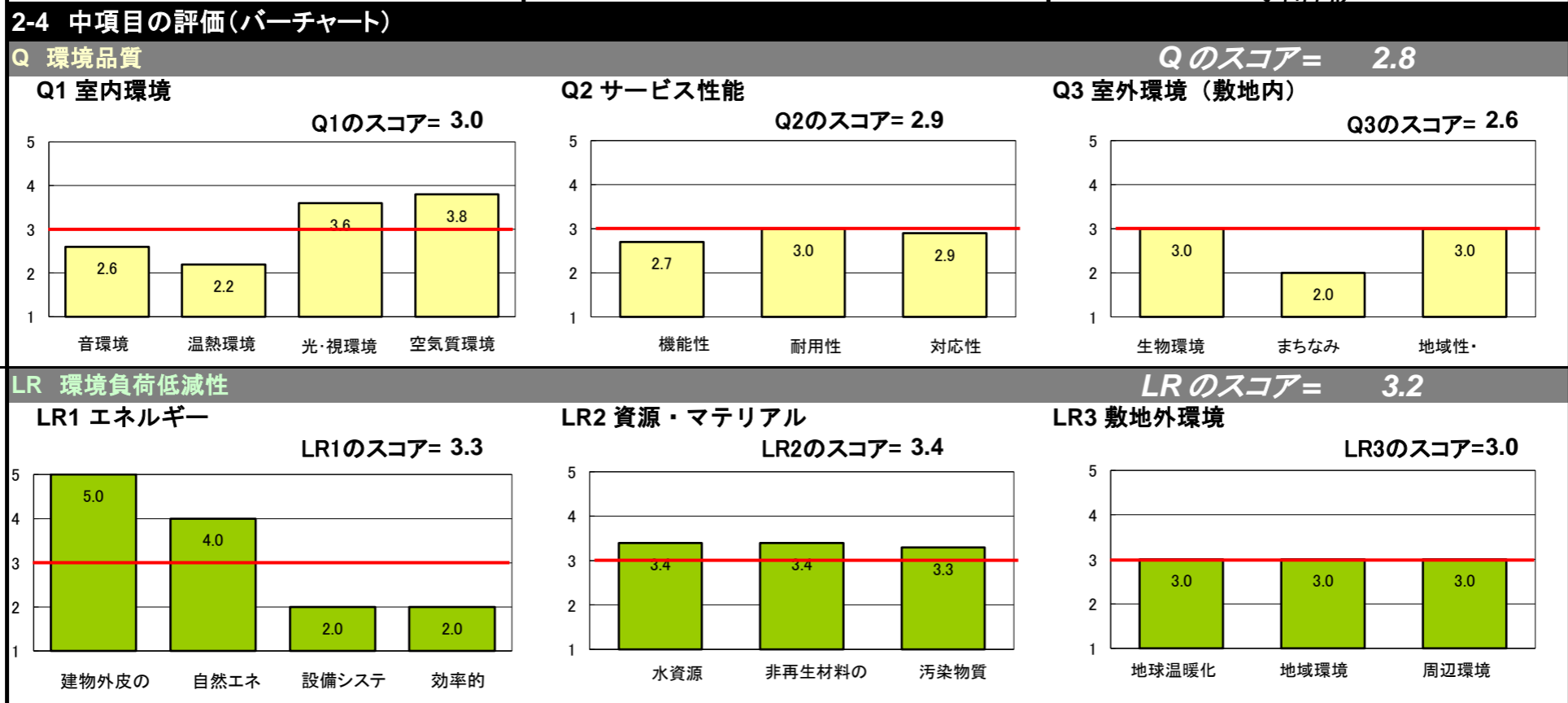
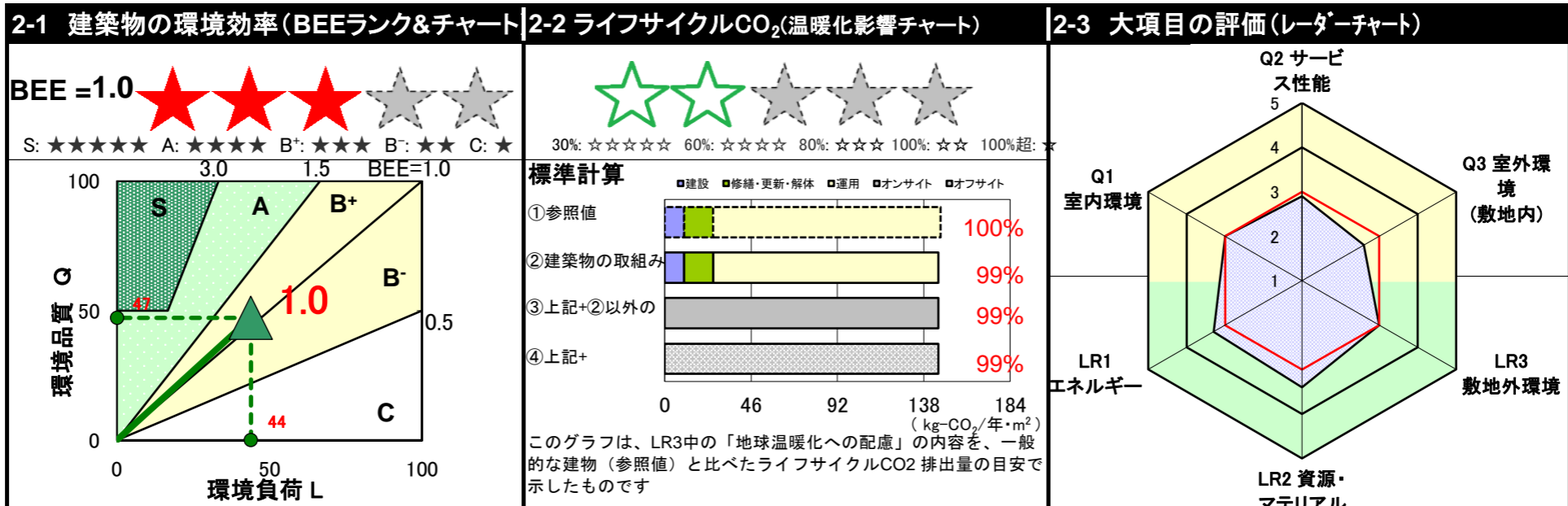


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 葵セントラル病院	階数	地上4階
建設地	愛知県岡崎市中田町7番1,7番6,7番7,7番9,7番10,7番11,7番13,7番14	構造	S造
用途地域	都市計画区域内、市街化区域、準防火地域、居住誘導重点区域	平均居住人員	220 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2021年8月 予定	評価の実施日	2020年6月26日
敷地面積	2,291 m ²	作成者	清水 英明
建築面積	1,648 m ²	確認日	2020年6月26日
延床面積	4,378 m ²	確認者	清水 英明



3 重点項目	
<p>①地球温暖化への配慮</p> <p>3.0</p>	<p>③敷地内の緑化</p> <p>3.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p>74.2 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p>0.0 %</p>
<p>②資源の有効活用</p> <p>3.1</p>	<p>④地域材の活用</p> <p>1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積(建築面積及び附属物面積)}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄							全体
配慮項目	独自基準 重点項目	建物全体・共用部分	建物全体・共用部分	建物全体・共用部分	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体		
					評価点	評価点	重み係数	評価点		評価点	重み係数
Q 建築物の環境品質											
Q1 室内環境											
1 音環境											
1.1 室内騒音レベル		0.1	2.6	0.15	2.7	2.7	1.00		2.8		
1.2 遮音		0.4	2.2	0.40		2.4	0.40		3.0		
1 開口部遮音性能			1.0	0.40		1.0	0.30				
2 界壁遮音性能			3.0	0.60		3.0	0.30				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			3.0	-		3.0	0.20				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			3.0	-		3.0	0.20				
1.3 吸音			3.0	0.20		3.0	0.20				
2 温熱環境											
2.1 室温制御		0.3	2.2	0.35	2.0	2.0	1.00		2.2		
1 室温		0.5	3.5	0.50	3.0	3.0	0.50				
2 外皮性能	窓3.31W/m ² K 外壁0.89W/(m ² K) 屋根0.56W/(m ² K)	3.0	3.0	0.38		3.0	0.57				
3 ゾーン別制御性		3.0	3.0	0.38			-				
2.2 湿度制御		3.0	1.0	0.20		1.0	0.20				
2.3 空調方式		3.0	1.0	0.30		1.0	0.30				
3 光・視環境											
3.1 昼光利用		0.2	3.6	0.25	3.8	3.8	1.00		3.6		
1 昼光率	待合ホール 3.04% 病室303 2.74%	0.3	4.2	0.30	4.2	4.2	0.30				
2 方位別開口		3.0	5.0	0.60		5.0	0.60				
3 昼光利用設備		3.0	3.0	0.40		3.0	0.40				
3.2 グレア対策		0.3	4.0	0.30	3.0	3.0	0.30				
1 昼光制御	待合ホール ブラインド+庇 病室 ブラインド	5.0	4.0	1.00		3.0	1.00				
3.3 照度		3.0	3.0	0.15		3.0	0.15				
3.4 照明制御	ベッド単位で照明制御できる	3.0	3.0	0.25		5.0	0.25				
4 空気質環境											
4.1 発生源対策		0.2	3.9	0.25	3.7	3.7	1.00		3.8		
1 化学汚染物質	天井裏以外F☆☆☆☆	0.5	4.0	0.50	4.0	4.0	0.63				
4.2 換気		0.3	3.0	0.30	3.3	3.3	0.38				
1 換気量		3.0	3.0	0.50		3.0	0.33				
2 自然換気性能	自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上	3.0	-	-		4.0	0.33				
3 取り入れ外気への配慮		3.0	3.0	0.50		3.0	0.33				
4.3 運用管理		0.2	5.0	0.20			-				
1 CO ₂ の監視		3.0		-			-				
2 喫煙の制御	建物全体が禁煙	3.0	5.0	1.00			-				
Q2 サービス性能											
1 機能性											
1.1 機能性・使いやすさ		0.4	2.7	0.40	4.0	4.0	1.00		2.7		
1 広さ・収納性	多床室8m ² 以上、個室10m ² 以上	0.4	3.0	0.40	5.0	5.0	0.60				
2 高度情報通信設備対応		3.0		-			-				
3 バリアフリー計画		3.0	3.0	1.00			-				
1.2 心理性・快適性		0.3	1.0	0.30	2.5	2.5	0.40				
1 広さ感・景観 (天井高)	病室 天井高2.5m	3.0		-		4.0	0.50				
2 リフレッシュスペース		3.0		-			-				
3 内装計画		3.0	1.0	1.00		1.0	0.50				
1.3 維持管理		0.3	4.0	0.30			-				
1 維持管理に配慮した設計	①②③⑤⑥⑦⑧⑩取り組み	3.0	4.0	0.50			-				
2 維持管理用機能の確保	①②④⑤⑥⑧⑨⑩取り組み		4.0	0.50			-				
2 耐用性・信頼性											
2.1 耐震・免震・制震・制振		0.3	3.0	0.31			-		3.0		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		0.4	3.0	0.48			-				
2 免震・制震・制振性能		3.0	3.0	0.80			-				
2.2 部品・部材の耐用年数		0.3	2.9	0.33			-				
1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.23			-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			2.0	0.23			-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	ビニル床シート・ビニルクロス20年		5.0	0.09			-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.08			-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			3.0	0.15			-				
6 主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.23			-				
2.4 信頼性		0.1	3.4	0.19			-				
1 空調・換気設備		3.0	1.0	0.20			-				
2 給排水・衛生設備	取り組み数3	3.0	4.0	0.20			-				
3 電気設備	非常用電源設備、無停電電源設備、浸水の危険性がない	5.0	4.0	0.20			-				
4 機械・配管支持方法		3.0	3.0	0.20			-				
5 通信・情報設備	通信手段の多様化、浸水の危険性がない、火災時通報専用電話、	3.0	5.0	0.20			-				

3 対応性・更新性			0.2	2.9	0.29	3.3	3.3	1.00	2.9
3.1 空間のゆとり			0.3	3.4	0.31	3.6	3.6	0.50	
1	階高のゆとり	病室3.9m 共用部:0.1<0.24<0.3	-	3.0	0.60		4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		3.0	4.0	0.40		3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	3.0	0.31		3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			0.3	2.5	0.38				
1	空調配管の更新性	②		3.0	0.17				
2	給排水管の更新性		3.0	3.0	0.17				
3	電気配線の更新性		3.0	3.0	0.11				
4	通信配線の更新性		3.0	3.0	0.11				
5	設備機器の更新性		3.0	1.0	0.22				
6	バックアップスペースの確保		3.0	3.0	0.22				
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30				2.6
1 生物環境の保全と創出		独自③		3.0	0.30				3.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④		2.0	0.40				2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			0.3	3.0	0.30				3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④		3.0	0.50				
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50				
LR 建築物の環境負荷低減性									3.2
LR1 エネルギー				-	0.40				3.3
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPIm:0.67	3.0	5.0	0.30			5.0
2 自然エネルギー利用			トップライトあり。	3.0	4.0	0.20			4.0
3 設備システムの高効率化				3.0	2.0	0.30			2.0
4 効率的運用				0.2	2.0	0.20			2.0
集合住宅以外の評価				1.0	2.0	1.00			
4.1	モニタリング			3.0	3.0	0.50			
4.2	運用管理体制			3.0	1.0	0.50			
集合住宅の評価				-	-	-			
4.1	モニタリング			-	-	-			
4.2	運用管理体制			-	-	-			
LR2 資源・マテリアル				-	0.30				3.4
1 水資源保護				0.1	3.4	0.15			3.4
1.1 節水			大便器4.8L、小便器0.8L	3.0	4.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				0.6	3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	3.0	0.67			
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	3.0	0.33			
2 非再生性資源の使用量削減				0.6	3.4	0.63			3.4
2.1 材料使用量の削減				-	2.0	0.07			
2.2 既存建築躯体等の継続使用				-	3.0	0.25			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②	-	-	3.0	0.21			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自	ビニル床タイル	3.0	3.0	0.21			
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	-	-			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自	LGS工法、移動間仕切り、OAフロア	3.0	5.0	0.25			
3 汚染物質含有材料の使用回避				0.2	3.3	0.22			3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			床仕上げ材:防塵塗床	3.0	4.0	0.32			
3.2 フロン・ハロンの回避				0.6	3.0	0.68			
1	消火剤			-	-	-			
2	発泡剤(断熱材等)			-	3.0	0.50			
3	冷媒			3.0	3.0	0.50			
LR3 敷地外環境					-	0.30			3.0
1 地球温暖化への配慮		①		-	3.0	0.33			3.0
2 地域環境への配慮				0.3	3.0	0.33			3.0
2.1 大気汚染防止				-	3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善				-	3.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制				0.2	3.0	0.25			
1	雨水排水負荷低減	独自		-	3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制			-	3.0	0.25			
3	交通負荷抑制	独自	駐車場の確保、管理用車両スペース、交差点のすぐ近くに出入口が	-	4.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制			-	2.0	0.25			
3 周辺環境への配慮				0.3	3.0	0.33			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				0.4	3.0	0.40			
1	騒音	独自		-	3.0	1.00			
2	振動	独自		-	-	-			
3	悪臭			-	-	-			
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				0.4	3.0	0.40			
1	風害の抑制			-	3.0	0.70			
2	砂塵の抑制			-	-	-			
3	日照障害の抑制			-	3.0	0.30			
3.3 光害の抑制				0.2	3.0	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			-	3.0	0.70			
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			-	3.0	0.30			

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

(仮称)葵セントラル病院

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.0
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.0	0.10	
② 資源の有効活用				3.1
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	2.9	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.4	0.19	
③ 敷地内の緑化				3.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	3.0	0.09	外構緑化:74.2%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

計画上の配慮事項	
総合	植栽を行い緑豊かな景観を実現しており、利用者が親しみやすい病院を目指している。 室内への熱の侵入を少なくする配慮等を行い、快適に過ごしやすい空間となっている。
Q1 室内環境	室内への熱の侵入に関して十分な配慮を行っており、高い断熱性能を有する。 開口部周りにブラインドや庇を設置し、まぶしさに対する対策を行っている。 F☆☆☆☆をほぼ全面的に使用し、化学汚染物質による空気質汚染を回避する対策を行っている。 建物内をすべて禁煙とし、非喫煙者が煙に曝されないようにしている。
Q2 サービス性能	利用者が広さ感を感じられるよう天井高を配慮している。 防汚性の高い仕上等、維持管理に配慮した設計としている。 節水型器具を使用し、災害時における上水の有効活用を図っている。
Q3 室外環境(敷地内)	野生小動物の生息域に配慮した緑地づくりを行っている。 中・高木の植栽や庇によって日陰の形成に努めている。
LR1 エネルギー	BPI:0.67であり建物外皮の熱負荷抑制に努めた建物だと言える。
LR2 資源・マテリアル	省水型機器を用いて節水可能な仕組みを装置している。
LR3 敷地外環境	自動車利用による交通負荷を抑制するため、十分な駐車場を確保し、交差点の近くに出入口が無い様設計している。
その他	